

Channel MORIOKA

アマチュア無線盛岡クラブ

SINCE 1949

平成14年6月号

JA7YCE

ホームページ <http://member.nifty.ne.jp/ja7yce/>

平成14年度通常総会開催

5月11日、労働福祉会館においてアマチュア無線盛岡クラブ平成14年度通常総会が開催されました。出席者数は本人出席27名、委任状出席46名の合計73名で、平成13年度事業報告・決算承認、平成14年度事業計画案・予算案が承認されました。当日欠席された会員には総会資料を同封致しましたので、詳細はそちらをご覧ください。

ALL JA参戦記 — 電信シングルオペオールバンドQRP (CAP) 部門 —

JR7HAN 花野 峰行

今年からJARLのコンテスト規約が大きく変更になりました。普段からQRPを中心に運用する私にとっては、今回、QRP部門が拡充され、マルチバンド部門やシングルバンド部門が設けられたことは大きな喜びでした(従来のQRP部門は任意の2バンド併用の部門だけでした)。そこで、今回、新設された電信シングルオペオールバンドQRP部門(CAP部門)でフル参戦してみました。

なお、例年なら4月29日に行われる子供の剣道の試合が、今年はたまたま一週間早まったのもフル参戦できる要因でした。実は、96年の無線再開以来、ALL JAにはほとんど出たことがなかったのです。また、単身赴任で普段はほとんど全く無線が出来ないので、たまには思う存分遊んでみたい、というのも大きな動機の一つでした。

さて、フル参戦と決めてから準備を始めました。今回は単身赴任先の習志野にFT817を置いてきてしまったので、リグはFT1000MPしかありません。これを出力5Wに絞って使うことにしました。7メガのような強力局が多数CQを連呼するバンドでは、FT817クラスの受信能力では、他局の影響を受けて飽和してしまい、弱い信号の受信が困難になりますので、いずれにせよ、1000MPを使わざるを得なかったでしょう。このため、HFのみの運用となり、50メガはあきらめました(ANTもないの

FT1000MPは100Wタイプですが、今回は出力を絞って5Wにしました。リグの上のANTカプラーで3.5のロングワイヤーを同調させました。リグの左にあるのがロギングに使ったPC98NS/T

でやむを得ません)。

ANTはルーフタワーに乗せた318-40がありますので、7メガはロータリーダイポール、14、21、28は3エレで、国内用には十分です。ここで問題は、3.5のANTがないことです。オールバンドの場合、3.5の出来は局数とマルチ両方に響きますので、QRVしないわけにはいきません。そこで、3.5メガの運用時には、7メガダイポールをT型につないで外付けのアンテナカプラーにつなぎ、10 mほどのアースラインをカプラーのグランド側につないで、窓から投げました(シャックは2階なので、高周波に使えるグランドアースはとれません)。

ロギングは、使い初めてから十年近くにもなるPC98NS/Tに、98用のZLOGを載せて使っています。DOS版のPCはフリーズする心配もなく安心して使えますし、キー配置とコマンドを体が覚えてしまっているので換えられません。CWインターフェースは、20年以上前のジャンク部品(2SC372!!)で作った自作です。

コンテスト中は、眠気覚ましを兼ねて、水分や栄養の補給も重要です。水分については、熱い紅茶をポットに入れておき、コンテスト中、適宜飲みました。私の場合、眠気覚ましには紅茶が一番です(コーヒーを2杯以上飲むと胃の具合がおかしくなります)。おやつは、バナナとレモン飴(武田のC1000)です。食事は、3食とも、呼ばれた時間に家族と一緒に食べました。

さて、21時になりコンテスト開始です。初売りのたたき値で仕入れた電波時計は正確なので助かります。最初はローバンドとすることで、7メガと3.5メガを行ったり来たりしながら、まずは、CQ連呼の強力局をコールします。7メガは順調に局数を伸ばすことが出来ますが、3.5はやはりANTのせいでしょうか、5Wではなかなか応答がありません。あまりにも効率が悪いので、3.5は後回しにして、深夜近くまでは7メガに集中することにしました。

7メガのCQ連呼局を呼び終わりましたので、今度はこちらからCQを出してみます。結構呼ばれます。私の場合、交信しながら相手のコールサイン6文字を頭に記憶したままには出来ませんから(4文字くらいしか頭に残りません)、受信した文字はすぐにキーボードから打ち込みます。幸い、学生時代に英文タイプを練習した(させられた、と言うべきでしょうか)ためブラインドタッチが出来ますので、かなり早い局でも遅れずに打ち込んでいくことが出来ます。

余談ですが、昔買ったブラザーのタイプライターの付録の英文タイプの教科書は、左手人差し指を使うFGF、FRF、FTF、FVF、FBFの練習から始まりましたが、これがなかなかいい練習で、しばらく練習したら私でもブラインドタッチが出来るようになりました。この教科書はもうなくしてしまいましたが、どなたがお持ちではないでしょうか？

話をALL JAに戻します。こちらは5Wの弱小局、7メガで快調にCQのランニングを重ねている内に必ず、強力局が上からCQをかぶせるように打ち始めて周波数を取られてしまいます。こちらのランニングは30分も連続できればいい方ですね。しかし、ここで怒ってはいけません。QRPのランニングは「牛若丸」と心得て、無法者の大男(行儀の悪いつんぼのkW局のこと)に押しつぶされそうになったら、隙間をぬってバンド中を飛び歩いてCQを打ち続けます。しかし、あまりに行儀の悪いマルチオペ局があまりに多いので、思わず、「QSYルールを導入してくれ!!」と叫びたくりました。ここはガマン、ガマン。

7メガは、予想以上に呼ばれました。これは、ルーフタワーとタン屋根の間が4 mほどなので、屋根からの反射もあってか、ANTの打ち上げ角が国内向きなものプラスに作用しているのかもしれないね。

夜の時間帯には、14メガや21メガのスカッターで聞こえる局のチェックも重要です。しかしながら、非力な5Wではほんの少数の局からしか応答はもらえませんでした。それでも、後でとれないマルチとかがとれていたので、やはりこのチェックは重要です。

早朝の4時頃になると、7メガのCQ連呼局は全て交信済み、3.5は呼んで応答のある局は



ルーフタワーに乗せた318-40(下)とWARCバンドダイポール(上)。3.5のロングワイヤーは318-40のドリブンエレメントを短絡してエレメントとしました

交信済み、という状態になりました。24時間の長丁場ですが、私もいい年なので、全く休憩なしでは体が持ちません。そこで、2時間ほど布団に潜って休憩を取りました。食事の時間も引くと、実働は20時間ほどでした。

6時前に起き出して再開です。14メガが開き始めていますので、CQ局を片づけて、こちらでもCQを出す、7メガも覗いて未交信局を見つけては交信する、と言った作業を続けます。14メガは、こちらのCQには、7メガほどではありませんが、それなりにコールがあります。日が上がるにつれ、14メガは開くエリアが広がっていきましたが、結局1エリアはオープンしませんでしたので、局数はまあまあでした。

21と28は、日が上がってもかすかに開いているだけで、弱い局が何局か聞こえるだけでした。しかし、このバンドをあきらめるとマルチに響きますので、無理かなと思われる局も呼んでみます。たまにはCQもちょっと出してみます。たまに呼んでくる局もあり、マルチになります。日中のハイバンドを使う時間帯は、各バンドの上下や、CQと呼び回りの時間配分は難しいところですね。今回はまずまず無難にやれたと思います。

夕方近くになると21は死んでしまい、14も遠いエリアの局しか聞こえなくなりました。そろそろ7メガ中心に移行です。7メガでCQを出すとほとんどとぎれない感じで呼ばれます。上からCQを打たれたら、今度はCQ局探し。この繰り返しで局数を伸ばします。時々3.5にも行ってみえますが、なんとしても飛びません。もう少しましなANTがほしくなりました。今度は、軽量型のロータリーDPでも仕入れて、マストのトップにつけてもらいましょうか・・・ 当家の敷地の中では、3.5の逆Vは張れないのです(マストトップからだとも屋根に引っかかる)。

18時半頃、丁度ランニングの上からCQを打たれたのをきっかけに、家族と一緒に夕食を食べました。コンテスト中は、これがせめてもの罪滅ぼしです。その後も、7メガはCQを出すとそれなりに呼ばれ、最後は終了十数秒前にJA1ZLOと交信して、コンテストは21時に終了となりました。

結果は下表の通りで、総交信数435局、129マルチ、総得点56,115点でした。バンド別で見ると、やはり3.5のふがいないのが目に付きます。7メガはまずまずかと思いますが、もう少し時間をうまく使えば300局近くはやれたと思います。午後の一時、睡魔との戦いになり、少しだれてしまった時間帯があったのが悔やまれます。最後まで貫徹する体力と精神力を日頃から鍛えておく、というのも重要ですね。ハイバンドももう少し局数がほしいところですが、スカッターとは交信できない弱小パワーではやむを得ない所かな、という気もします。

3.5MHz	39局	39点	22マルチ	
7MHz	259局	259点	47マルチ	
14MHz	111局	111点	38マルチ	
21MHz	19局	19点	15マルチ	
28MHz	7局	7点	7マルチ	
合計	435局	435点	129マルチ	総得点 56,115点

盛クラの方とは、記憶にあるのでは、JA7JHTと5交信、JA7NPVと3交信、JP6JKKと2交信、JA7EU、JA7SYA、JR7CRIとそれぞれ1交信でした。JP6JKKは14と21で交信しましたが、他にはかすかに聞こえる局がいるだけ、という状態の中でも1局だけ強力に入感していました。ただ入感しているだけではなく、こちらには全く聞こえない1エリアの局を相手に快調にランニングしておられます。これが「地の利」なんだな、と感じた次第です。今年はハイバンドの爆発的なオープンはありませんでしたので、番狂わせの起きる可能性はまずないでしょうから、JP6JKKの順当勝ちでしょうか・・・ いずれにせよ、JK6SEW局との一騎打ちでしょうか？

今年から部門が拡充されたQRP部門は大激戦でした。参加局も急増し、私の全交信435局の内、27局がQRP局でした。Lを打つ局はほとんどいなかったくらいです。私の参加したCAP部門のトップはJA6UBK局でしょう。14メガで1エリア相手に快調にランニングしていたので、おそらく、700局近くはやっているはず。2番手はJR4DAH伊豆野さんでしょう。こちらは、実働18時間ほどで500局超とのことです。14メガの1エリアオープンが1時間ほどだったとのことです。このあたりがUBK局との交信数の違いになっているのではと思

ます。

私も3.5のANTさえまともなら、500局は軽く行けたと思うと少々じゃないくらい残念です。7メガシングルバンドではJA5DIM林さんが実働12時間ほどで330局行っていますので、私もうまくやれば300局くらい出来たはず。このあたりも少々悔しいですね。

いずれにせよ、久しぶりに無線らしい無線を楽しみました。次は、6mアンドダウンコンテストに、単身赴任先の近くの見晴らしのいい場所から運用しようかと思っています。リグはFT817で、電源は太陽電池パネル(4.5W)と鉛シールバッテリー、ANTは50/144/430の3バンドGPを考えています。車がないため、自転車/電車/徒歩での移動ですので、行ける場所と運べる荷物に限界がありますし、夜間は危ないので運用できないでしょう(オヤジ狩りでもされたら大変です)。それでもどれくらいやれるか楽しみです。今回も、JP6JKK局などに比べればほんのわずかな点数ですが、次回も、少しは盛クラに貢献できるようにしてみたいと考えています。

国家試験

8月に仙台で行われるアマチュア無線技士の試験日程および申請期間をお知らせします。この機会に上級資格にチャレンジされてみてはいかがでしょうか？

資格	試験日	申請期間
1アマ	8月4日(日)	6月1日～6月20日
2アマ	8月11日(日)	6月1日～6月20日
3アマ	8月24日(土)	6月1日～6月20日

8 J 1 V L P / 1

サッカーのワールドカップも開幕し、世間では8Jシリーズの特別局が目白押しですが、JARL QRPクラブの特別局8J1VLPが運用中です。

JR7HAN花野さんが6月8日、9日の両日エレクトロデザインのアンテナ実験場(社長の別荘)から8J1VLP/1を運用する予定です。「JARL QRPクラブの特別局ですので、当然QRPですが、アンテナはforce12のビームアンテナが沢山あります」とのことです。

運用予定周波数は

CW: 1.910, 3.5010, 7.003, 7.025, 10.109, 10.125, 14.027, 14.060, 18.085, 21.027, 21.060, 24.905, 28.027, 28.060

SSB: 3.5050??, 14.140, 18.130, 21.180, 24.940, 28.440

なお、「7メガのSSBは怖いのでとても出られません・・・」とのことです。

皆さん、是非呼んであげて下さい。きっとアンテナの重要性を再認識できると思います。

編集後記

JR7FBR吉田さんの都合により今月からJA7MFL、JA7QQQの両名が編集を受け継ぐことになりました。不慣れな者ですがどうぞ宜しくお願いいたします。

移動運用の計画や、今面白いとお思いの事、昔の思い出等、内容は問いません、皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の宛先は下記までお願いいたします。

JA7MFL	020-0108	盛岡市東黒石野1-8-10	須藤 裕		
		電話	019-661-7466	メール	ja7mfl@mx5.nisiq.net
JA7QQQ	028-3303	紫波町高水寺字田中177-24	中村 浩		
		電話	019-672-2958	メール	genkou@radiomorioka.com